大阪府ラグビーフットボール協会
普及育成委員会

安全なプレーをするための、ジュニア・ラグビーレフリングの指針（2018年度追加）

1.　スクイーズボール（◆U-15ジュニアラグビー競技規則2018）

競技規則　第14条　タックル　7.ｄ
Ｄ.タックルされたプレーヤーが、あるいは地面に倒れたプレーヤーが身体と地面の間にボールを確保し、足の間からボールを後方に押し出すプレー（「スクイーズボール」）をしてはならない
罰：ペナルティ
（疑わしい場合も、指導を含めてペナルティとする）

2.ローヘッド（◆U-15ジュニアラグビー競技規則2018）

競技規則　第9条　不正なプレー　確認事項　30.　<ローヘッド>
いずれのプレーヤーもモールへの参加を含む全ての局面において頭を肩や腰より低く（ローヘッド）した状態でプレーすることはできない。
　具体的にはボールの争奪、及びタックル時、ボールを確保する行為、ラックの形成前からラック・モール形成時を含めた全てのプレーにおいて、故意、あるいは継続的に顔を下に向け、肩や腰よりも頭を下げてままプレーすることをいう。
　ボールの位置から離れたスイープや頭が下がる突っ込み、ブリッジング、或いはボールに対して蓋をするような行為もローヘッドとなる。
罰：ペナルティ

3.ジャッカルについて

- **基本的に手を地面につくのはNG。また本来は人の上に手をつくのもNG**
  （自立していない状態）
- **ボール（およびボールキャリア）を跨いでボールをとるように指導する**
  またその際にヘッドアップも合わせて指導する

4.脳震盪について（◆U-15ジュニアラグビー競技規則2018）

競技規則第3条23【正式な交代-識別と退出】
23.試合中のいかなる時点であっても、脳震盪を起こした、または、脳震盪の疑いがあるプレーヤーだけでなく、頭部打撲や頭部裂傷を負った場合も、そのプレーヤーはただちに協議区域から離れ、戻ってはならない。プロセスが「識別」と「退出」である。

大阪府ラグビーフットボール協会
普及育成委員会

安全なプレーをするための、ジュニア・ラグビーレフリングの指針（2018年度追加）

5.逆ヘッドについて（◆U-15ジュニアラグビー競技規則2018）

競技規則　第9条　不正なプレー 【危険なプレー】　11
11.プレーヤーは、無謀な、または、他者に対して危険な行為はいかなるものもしてはならない。
以下は危険な行為となる。
・胸部よりも上への働きかけ・ノーバインドタックル・襟を掴む・後ろ等から肩口を掴む・体当たり・引き倒す・振り回す・突き倒す（押し倒す）・頭突き・逆ヘッドとなるタックル
罰：ペナルティ

6.その他

- **ボールキャリアが倒れて危険な状態である時、安全のために即時にプレイを止める。**

選手に大きな怪我を起こさせないよう、普及育成委員会として以上の点を選手、指導者、レフリーと一体となって啓発していきます。
特にレフリーも試合中のジャッジだけでなく、安全面での選手の指導を行います。

（参考資料）
- 19歳未満　国内高専・高校以下用　競技規則2018
- U-15ジュニアラグビー競技規則2018
- U-15ジュニアラグビーラグビー競技ガイド（2018.4.1）